

「Web 出願システム」改修にかかる情報提供依頼実施要領

I 基本事項

1. 提供を依頼する情報

令和6年度入学者選抜より導入している「Web 出願システム」について、現行の入試制度が令和7年度で終了し、令和8年度から新しい制度になるため、システム改修を行うための検討にあたって必要な情報。

なお、奈良県立高等学校入学者選抜においては、令和6年度入試より県内の中学生からの出願においては、紙の書類を一切廃止し、奈良スーパーアプリの出願手続き機能により出願、中学校長による承認、必要書類の電子データ授受、受検票の発行、入学検査料の納入、高校間の検査点の受渡、合否発表等を行っている。

2. 提出物

Ⅲに示すとおり

3. 提出期限

令和6年9月24日（火）17時までに提出をお願いします。

4. 提出方法

5. に定める提出先へ電子メール、または持参により提出してください。

5. 提出先・お問合せ先

奈良県教育委員会事務局 高校教育課教育指導係 担当：菟原（うばら）、元根
〒630-8501 奈良市登大路町 30
Tel:0742-27-9851（直通）
e-mail:nyushi@office.pref.nara.lg.jp

6. その他

- ① 情報提供にかかる費用につきましては、各社にて負担いただきますようお願いいたします。
- ② 本件情報提供依頼において掲げている新システム導入の基本条件は、実際にシステムを調達する際の仕様・要件定義と内容が一致するものではありません。各位から提供していただいた情報その他を総合的に勘案した上で、令和7年度6月頃に正式な仕様書を提示して調達を行う予定としています。
- ③ 一部資料等については、セキュリティ面から Web サイトに公開していません。本情報

提供へ参加を検討いただいている事業者におかれましては、「5. 提出先・お問合せ先」
に示す連絡先まで連絡をお願いします。別途提供する情報の取り扱いに関する誓約書を
提出いただき、これらについて提供させていただきます。

- ④ 提供された資料に関しては、返却しません。
- ⑤ 本 RFI に伴い、本県が提供する資料及び質問回答の内容は、第三者への開示及び他の
用途への流用を禁じます。

II 「Web 出願システム」開発の基本条件

概要

- ・業務概要
(全体像等) 出願に係る全ての手続き
- ・システム化範囲は上記業務内容の全て

1. 現行業務について

(現行の事務フロー) 別展開参考資料1参照

現行のWeb 出願システムにおいては、奈良スーパーアプリの出願手続き機能により出願、中学校長による承認、必要書類の電子データ授受、受検票の発行、入学考査料の納入、高校間の検査点の受渡、合否発表等を行っている。事務フローの詳細は別展開参考資料1のとおりであるが、志願者、中学校職員、高校職員、県職員のそれぞれのWeb 出願システムにおける事務内容は以下のとおり。

※システム環境

- ・志願者は、PC・スマートフォン・タブレットなどのブラウザ環境から、出願可能であること。
- ・職員は、職場のPCから生徒の情報を確認できること。(IPアドレス制限もしくは多要素認証でセキュリティを担保できること。)

① 志願者

- ・奈良スーパーアプリのアカウント作成
- ・いいネットならアカウントのメールアドレス確認
- ・選抜ごとに出願情報を入力(志願先の高等学校における学科(コース)は、第3志望まで選択で選べる)し、一時保存して中学校長の承認を得る。
※一般選抜においては、第1希望校、第2希望校の選択が可能
- ・写真及び自己アピール文をアップロード
(添付した書類は、中学校職員・高校職員・県職員も確認可能)
- ・入学考査料を納入(銀行振込、PayPay、クレジットカード)
- ・受検票を出力(受検票は中学校職員、高校職員、県職員も確認可能)
- ・合否を確認

② 中学校職員

- ・各中学校職員が、中学校職員用画面にログイン
- ・各中学校で、その中学校の生徒(過年度生含む)の出願情報を確認し、承認
- ・生徒の出願情報詳細画面において、出願に必要な書類を添付
(添付した書類は高校職員・県職員も確認可能)

- ・生徒の添付した写真や自己アピール文を確認
- ・生徒の出願情報を担任・学年主任等が確認し、中学校長が承認（中学校長の承認をもって、出願）
 - ※担任・学年主任等、校長の確認作業中は、生徒は出願情報を編集できない。
- ・受検票を出力（教員側からも受検票の出力が可能）
- ・合否を確認

③ 高校職員

- ・各高校職員が、高校職員用画面にログイン
- ・各高校で、その高校を志願する生徒の情報を確認
 - （志願者の情報から、第1希望校、第2希望校、どちらで出願しているか分かるようにする。）
- ・各高校で、志願者リストを出力
- ・各高校で、志願者からの提出書類や出願者の所属中学校からの提出書類を確認
 - ※添付された書類は、複数生徒をまとめて一括でダウンロード可能とする。
- ・各高校で、志願者の受検票、写真票を確認する（個別及び一括で印刷可能）
- ・検査後、各選抜の検査点を入力
 - （第1希望校・第2希望校での検査点の受渡や、一般選抜から二次募集への検査点の受け渡しが可能）
- ・合否を入力（第1希望校から第2希望校への合否結果が共有可能）

④ 県職員

- ・各県職員が、県職員用画面にログイン
- ・各種統計情報（出願の各ステータスごとのレポート）確認
 - 例：各高校の学科（コース）別出願者数（第1志望、第2志望、第3志望）
 - 第1希望、第2希望の出願者リスト
 - 入学審査料未払い者リスト等
- ・出願者詳細情報確認（受検票、添付ファイル等全て）

2. システムへの要求

- ・想定するシステム概要
 - ・入試の制度変更やユーザビリティの向上のための変更に対応できるものであること。
 - ・現行運用している中高連携システムサイト（奈良県域統合型校務支援システムの機能）に、受検番号一括登録ができるような志願者リストを提供できること。
 - ・システムを使用する対象は、中学生 7500 名、中学校職員 260 名（130 校で各校 2 名）、高校職員 90 名（45 校で各校 2 名）、県職員 10 名程度を想定。

・システムに期待する主な機能

① システム環境・機能 現行と同様

② 令和8年度入試対応 以下の機能を実装できること。詳細は次ページの表のとおり。

また、詳細な業務フローについては、**別展開参考資料2**参照。

・特別選抜の各選抜に対応した出願および、教職員による書類の添付、合否確認

(i) スポーツ・文化活動特別選抜

スポーツ・文化活動推進校の指定部活動及び指定部門において、奈良県中学校体育連盟主催の試合や、全国組織の団体（中央競技団体）及びその都道府県支部が開催する公的な試合や発表会が実施されている部活動や部門であることを前提とし、関係高等学校の意見を受けて、県教育委員会が認めた部活動や部門で実施

(ii) 全国募集特別選抜

ア 運動部活動に関する選抜

山辺高等学校（馬術部、ライフル射撃部）、御所実業高等学校（ラグビー部）、宇陀高等学校（自転車競技部）、王寺工業高等学校（ボクシング部）、十津川高等学校（ボート部）

イ 学科・コースに関する選抜

御所実業高等学校薬品科学科、十津川高等学校

(iii) 中高連携教育推進特別選抜

地域の中学校若しくはこれに準じる学校（以下「中学校」という。）や中等教育学校前期課程（以下「中学校」に含める。）と連携を実施する進学教育推進校において、関係高等学校の意見を受けて、県教育委員会が認めた高等学校において実施

・一次選抜（全ての全日制課程及び定時制課程において実施（青翔高等学校は除く））

における第1希望校、第2希望校への出願、2段階の合否判定

また、以下の選抜も同時期に実施

(iv) インクルーシブ教育推進特別選抜

受検者の在籍中学校長及び当該市町村教育委員会と県教育委員会が十分な相談のうえで決定した全日制課程の高等学校において実施

(v) 外国人・帰国生徒特別選抜

国際高等学校（国際科）、法隆寺国際高等学校（総合英語科）、高取国際高等学校（国際コミュニケーション科）において実施

(vi) 成人特別選抜

定時制課程及び県教育委員会が指定する高等学校において実施

・追検査、二次選抜、通信制課程選抜にも対応すること。

R6のNo	No	追加部分	機能名	選抜区分	各選抜のさらに細かい説明	要求事項	補足（わりと大切）
319	1	○ R6の選抜区分に修正 ※まだ修正の可能性あり。	願書内容入力	A 特別選抜	①スポーツ・文化活動特別選抜 ②全国職業特別選抜 ③中高連携教育推進特別選抜	申請者は願書入力画面を表示し、入力できること。また申請者は申請内容を一時的に保存できること。入力項目には申請者への連絡用メールアドレスを告知、その所在確認ができること。	<ul style="list-style-type: none"> 1校1学科に限り出願可能 ①～③に同時に出席することはできない。 欠席の場合も、追検査対象とはならない。 所在確認ができること⇒ いいネットならアカウント (@e-net.nara.jp)
				B 一次選抜	第1出願期間と第2出願期間がある (第1出願期間後、出願状況を報告発表。卒業CAの募集人員も更新し、第1出願期間で募集人員を超えた学校は、第2出願期間で選抜不可能とする。)	同上	<ul style="list-style-type: none"> 3教科以上の学力検査(学校によって、3教科～5教科が選べる) 2校出願が可能(第1希望校、第2希望校) 第1希望校が受検会場となる。第1希望校、第2希望校ともに受検番号を採番する(受検票を発行する) (システムで制限をかける) 【第一出願期間】 第1希望校の1校1学科(コース)に出願することができる。ただし、順位を付けて2(3)学科(コース)まで志願することができる。 【第二出願期間】 第一出願期間の出願者数が募集人員に満たなかった学科(コース)に、第2希望校として1校1学科(コース)に出願することができる。ただし、順位を付けて2もしくは3学科(コース)まで志願することができる。 やむを得ない理由で欠席の場合は、追検査対象(フラグ) 一次選抜を受検した履修は、二次選抜に(フラグ)
				B-2 一次選抜と同時期に実施	④インクルーシブ教育推進特別選抜 ⑤外国人・帰国生徒特別選抜 ⑥成人特別選抜	同上	<ul style="list-style-type: none"> 1校1学科に限り出願可能 ④～⑥に同時に出席することはできない。 やむを得ない理由で欠席の場合は、追検査対象(フラグ)
				C 通信制課程選抜(Bと同時期)		同上	<ul style="list-style-type: none"> 作文、面接、調査書で選抜
				D 追検査		B 一次選抜の情報を引き継ぐ	<ul style="list-style-type: none"> やむを得ない理由で、一次選抜の検査を欠席したものが出願した学科(コース)において実施。 ただし、募集定員について、他の公的機関の認可が必要な学科を除く。(フードデザイン等)
				E 二次選抜		同上	<ul style="list-style-type: none"> 一次選抜及び通信制課程選抜で合格者が募集人員に満たなかった学科(コース)で実施。 一次選抜の採点結果を用いる。
				F 通信制課程二次選抜(Eと同時期)		同上	<ul style="list-style-type: none"> 作文、面接、調査書で選抜 Cにおいて、合格者数が募集人員に満たなかった全ての通信制課程の高等学校で実施。
320	2		願書内容入力		319 について、入力必須項目、入力形式のチェックを行えること	A～Fの選抜について全て	
321	3		書類添付		申請入力時に書類を添付できること(PDF、スマホから撮影した写真の添付を可能)	A～Fの選抜について全て	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が添付する書類は、自己PR、写真
	4		書類添付		添付した写真の確認(プレビュー)ができること	A～Fの選抜について全て	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が添付する書類は、自己PR、写真
322	5		ユーザ情報自動入力		ユーザ情報についてはマスタDBに登録されている内容をもとに自動入力できること	A～Fの選抜について全て	
323	6		学校在籍チェック		申請情報を校務支援システムへ連携し、在籍の確認ができること	中高連携システムへは、手動での連携を想定	
324	7		願書内容確認		中学段階は当中学校に所属する申請者の願書内容(出願先)の確認及び出力ができること。また、高校段階等は当高校に出願した申請者の願書データの確認及び出力ができること。(出力はCSV形式を想定。)	<ul style="list-style-type: none"> 実行通り A～Fの選抜について全て 	
325	8		受検票・写真票交付		中学校職員・高校職員は願書データをもとに受検票・写真票を出力できる(出力形式はPDFを想定)。また申請者は受検票を出力できること。	<ul style="list-style-type: none"> 写真票は高校職員のみ 一括出力できるように 	
	9		受検票・写真票交付		2校出願可能な1次選抜において、第1希望校の受検票を発行し、第2希望校の受検番号を、画面上で確認できること。(申請者、中学校、高校)	<ul style="list-style-type: none"> 実行通り ただし、R6、R7は第2希望校(受検会場)の受検票を発行し、第1希望校の受検番号を画面上で確認できる、と第1希望と第2希望が逆の扱いなので注意すること。 	
326	10		納入データ連携		決済代行業者から奈良スーパーアプリへ連携できること	実行通り	
327	11		受検番号付番		納入を確認できた申請者リストに受検番号の自動付番ができること。	<ul style="list-style-type: none"> 実行通り 2重採番がないように。 	
328	-		帳票作成		願書データ、納入データをもとに入学金受付簿、収入簿を作成できること。また願書データはデータ出力できること。(出力形式はCSV、PDFを想定)	不要。	
329	-		出願者数・納入額確認		職員は入学金受付簿、収入簿を確認できること	不要。	
330	-		出願者数・納入額確認		高校職員についても在籍校分については確認できること	不要。	
	11	○	採点		高等学校職員は、1次選抜における採点結果を登録し、申請者が希望する他の出願校に採点結果を連携できること	<ul style="list-style-type: none"> 第1希望、第2希望での採点結果の連携は実装済み。 採点結果の連携については、R6,R7入試 第2希望校で採点した結果を第1希望校へ連携 	
	12	○	採点		1次選抜における採点結果を、二次選抜にも連携できること。その際、採点結果だけでなく、1次選抜における受検番号、学校も連携できること	R6 (R7年度入試) 実装予定	
331	13		合否入力機能		高校職員は出願者情報を参照し、合否結果の入力ができること	A～Fの選抜について全て	
332	14		合否通知作成・連携機能		出願者情報、合否結果をもとに合否通知を作成し、申請者へ連携できること	R7入試から、HPでの受検番号の発表はなくす予定	
333	15		合否連携		合否データを校務支援システムへ連携できること	中高連携システムへは、手動での連携を想定	

・その他 クラウド上で利用できるシステムを想定する。

Ⅲ ご提供いただく資料

1. 貴社概要

2. 提案可能サービスと体制、導入実績・導入規模

3. 提案概要とその優位性

(現行事務フロー・課題・改善施策に対する提案)

- ・新サービス・システム概要説明
- ・基本的な仕様（OS、開発言語、システム方式、DB等のミドルウェア、特徴等）
- ・新システム構成図・ハードウェア構成図
- ・新システム機能構成図、機能概要
- ・システム機能要件・非機能要件（セキュリティ等）
- ・システムのイメージ（画面・帳票サンプル）
- ・システム運用スケジュール（年間）

4. 概算見積書の提出

本システムに要する費用の見積りを添付の「標準見積書様式」に従って作成し、提出してください。開発作業にかかる経費については、「(別紙) 開発スケジュール様式」に従って、作業項目ごとの開発スケジュールを作成し、添付してください。

なお、見積りにあたり、詳細条件又は追加条件等が必要な場合は、貴社で条件を設定し、それらを示したドキュメントを添付してください。